

＝早川南小学校だより＝

はるき



平成28年12月12日

No. 16

校長 小尾 一彦

学力向上に向けて

■ 全国学力・学習状況調査の結果から南小としての授業改善へ

今年度6年生が参加した「全国学力・学習状況調査」の結果について、8月の校内研究会で全職員による検討会を行いました。遅くなりましたが、報告させていただきます。結果の傾向は、山梨県全体の児童にも共通するところが多いです。

○教科（「国語」「算数」）に関する状況

今年度は、国語・算数のA問題（主として「知識」に関する問題）とB問題（主として「活用」に関する問題）について実施されました。

国語のA問題では、漢字の読みなど基礎的・基本的な事項はよく習得されていますが、漢字を正しく書くことでは、一部の漢字を書くことに課題が見られました。（「そうだん」⇒相談）算数A問題では、基本的な計算の技能は概ねよい結果になっています。

国語のB問題では、目的に応じ、質問したいことを整理することやグラフをもとに、分かったことを的確に書くことに課題が見られました。算数B問題では、示された条件をもとにほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができていました。しかし、単位量あたりの問題や示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさをもとに、式の意味の説明を記述することに課題が見られました。

○生活習慣や学習環境等に関する状況

教科とは別に、質問紙調査という形で、児童の生活習慣や学習環境についての調査も実施されました。南小の子どもたちは、自己肯定感を持ちながら将来の夢や目標をしっかりと持っていること、勉強に対して前向きに取り組む様子が分かりました。反面、家庭学習の時間が少ないことが分かりました。（山梨県は、全国平均に比べ家庭学習時間が少ないという傾向があります。）

○学校の授業改善としての取組

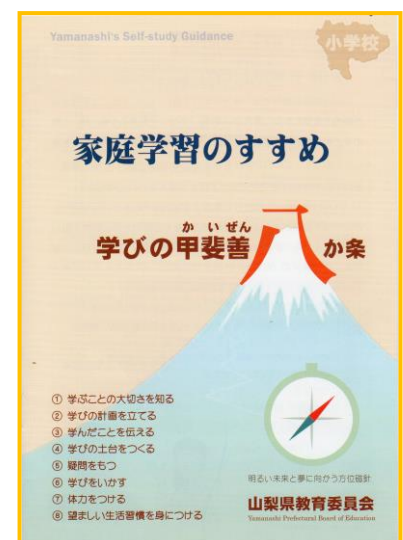
以上のような学力の状況や生活の状況を踏まえながら、南小としても全職員が共通理解を持ちながら授業改善を行い、子どもたちの学力向上に向けて、更に取組を強めていくこととしました。

そのために、次のことに取り組んでいくことを確認しました。

- ① 1時間1時間の授業のめあてを明らかにしながら授業を行うこと
- ② 授業の終わりにはふり返りを行って子どもたち自らが学んだことを実感できるような授業を目指すこと
- ③ 授業に臨む基本姿勢としての学習ルールを身につけさせること
- ④ 「読むこと」を中心とした授業研究を通して「読解力」を高めること
- ⑤ 家庭と連携しながら学習習慣が身につくような手立てを行うこと

○家庭学習の習慣化

「家庭との連携」では、「家庭学習の手引き」をもとに、引き続き保護者の皆様にもご協力をお願いをさせていただきたいと思っております。また、山梨県では「家庭学習のすすめ」を発行しました。すでにお子さんを通して配付してありますので、家庭学習の習慣化にむけて、役立てていただきたいと思います。



■ すべて転んで楽しかったスケート教室

11月28日(月)に1~3年生は北小と合同で、小瀬スポーツ公園アイスアリーナでスケート教室を行いました。午前中は2名のインストラクターの指導を受け、午後は自由滑走を行いました。午後、スイスイと滑る子どもたちの姿はとても楽しそうでした。安全に楽しくできたスケート教室に大きな花まるです！



■ 児童会役員選挙が行われました！

12月5日(月)に児童会役員選挙立会演説会、投開票が行われました。立会演説会で立候補者は、堂々と自分の公約を発表できました。また、子どもたちも真剣な態度で聞くことができました。いい意味での緊張感のある演説会でした。新児童会の役員を中心に、みんなで協力して、素晴らしい南小にしていってほしいです。

■ 総合的な学習の時間「春木っ子タイム」発表会

12月9日(金)の5校時に、春木っ子タイムの学習の成果を発表しました。3~6年生が「雨畑硯」と「木」のグループに分かれて、調べたことや体験学習したことをテレビに映して発表しました。参観された硯匠庵の天野館長様からは「調べたことが丁寧にまとめてあり、素晴らしい」という講評をいただきました。



調べたことや体験したことを学習の成果として本にまとめました！



■ 古川様よみかんをいただきました！



12月12日(月)に静岡県在住の古川幸雄様・久美様ご夫妻より、子どもたちにみかんをいただきました。毎年のご厚意に対しまして、今年も早川町の委員会より感謝状を贈呈させていただきました。古川様がとても楽しみにしている「ありがとうコンサート」にご招待したいと思います。

